

第2回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

令和元年度第2回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)を10月23日(水)10:30から美深町役場大会議室で開催。委員14名と町理事者、各課長等あわせて30名が出席しました。

会議では、平成30年度における第5次美深町総合計画の事業の実績、行政評価の結果、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果の報告を行い、それらの報告事項の後にまちづくりに関する意見交換を行いました。

会議の内容

(1)山崎議長あいさつ

(2)山口町長あいさつ

(3)第5次美深町総合計画(平成30年度事業実績)について-①

(4)令和元年度(平成30年度事業)行政評価結果について-②

(5)まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について-③

(6)まちづくりの推進についての懇談-④



①第5次美深町総合計画(平成30年度事業実績)について

第5次総合計画に基づく、平成30年度総合計画の実績額として31億2,666万円の執行額の状況(計画に対する執行率88%)や、町の資金借入である地方債についての説明が行われました。

平成30年度は162の事業が実施され、住民生活、農林業、商工業、観光、学校・社会教育、保健・老人福祉などの主要事業の事業費、過疎債の充当状況を計画・実績と対比し、総合計画に基づく実績説明を行いました。

③まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果について

本年8月に実施された「まち・ひと・しごと創生総合戦略評価報告書」に基づき、基本目標毎に設定された数値目標、KPIの評価結果について報告が行われました。

評価結果は、A評価12事業、B評価23事業、C評価1事業となり、総合戦略達成に向けた課題の整理、取組みの考え方について説明を行いました。

②令和元年度(平成30年度事業)行政評価結果について

平成30年度は、1次評価168事業、2次評価102事業、3次評価(行政評価町民委員会)31事業の評価が行われました。

評価の結果は、A評価21施策(67%)B評価10施策(32%)、C及びD評価は無しです。

各個別事業については、継続課題もあり、来年度以降の考え方について説明を行いました。

④まちづくりの推進についての懇談

- 災害対策について
- 病院の統廃合について
- ごみの関係について

※懇談内容の詳細は、次項に記載

<出席委員からの主な質疑・意見>

●災害対策について

委員～ 今年台風被害が各地で出ている。美深でも昔は浸水被害があった。堤防の決壊などから人命を守るためにも、特別養護老人ホームの移築と災害時の指示系統確保のための役場庁舎の移築を早急に着手すべきでは。

町長～ 課題があるのは承知しているが、特養については、美深福祉会の考えがしっかり決まらない事には進められない。第6次総合計画に載せることができればと思う。役場庁舎については、財政的な問題もあり、難しい。警察署は予定通り建設が進んでいる。農業振興センター周辺に、農業関係施設を集約していく事も考えている。

●病院の統廃合について

委員～ 病院の統廃合が新聞で報道されていたが。

町長～ 新聞報道されていたのは、国の基準で出されたもの。美深や下川など、全国56～57か所あったが、病院の問題はそんなに簡単なものではない。病院経営も厳しい状況になっている。美深は名寄に近いこともあり、難しい面もあるが、厚生病院も運営改善に取り組んでいる。

●ごみの関係について

住民生活課長

～ 一般ごみについては、平成30年度から名寄の処分場への搬入となっているが、名寄の炭化センターや衛生センターも老朽化が進んでいる。中間処理施設の基本方針ができ、これから検討が始まる。今後は、炭化処理から焼却処理に変わっていくことが予想され、そうなること、ごみの分別方法なども変わっていく。

町長～ ごみと消防は広域で組合をもっており、町も議会も委員を出している。また、議会でカラスの話もされた。カラスが増えているのは感じている。駆除を進めたいが、難しい。

